

## 令和6年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座④

- 1 期 日 1月16日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 (前半) 株式会社ミタス 代表取締役専務 立石 正治 様  
(後半) 株式会社大津屋 代表取締役会長 小川 明彦 様
- 4 参加生徒 84名
- 5 報 告



株式会社ミタスの講座では、「治す」と「治る」の間にミタス、というキャッチフレーズのもと、医療を行うには病院だけでなく医療機器を届ける人が大切であることをお話していただきました。講義中に医療機器を使ってみようということで、人のおなかの中の模型で実際に鉗子やはさみを使ってひもを結んでみたり、切ってみたりしました。実際に器用な操作をした生徒の様子では、

想像以上に難しいと見て取れました。

株式会社大津屋の講座では、コンビニエンスストアのオレンジボックスの誕生から現在の事業展開まで、身近にある店舗や会社について生徒の興味関心を引きつご説明いただきました。現在の事業に至るまでの苦労と創業者の方の努力の様子が生徒に十分に伝わってきたようでした。



(生徒の感想から)

- ・1300年代というかなり昔から物流業を行っていて、酒造業、その後は福井県初のコンビニエンスストア。またその後はあまりなかった総菜や弁当など、日々新しいことに挑戦する精神がよく伝わってきました。戦争に重なるように起こった震災によりいろいろな物を失ってしまっても、復興しようとするあきらめない心によって700年も歴史が続いたのかなと思いました。
- ・24時間営業は関係者の方の努力の結晶だと思いました。「コンビニエンスストア」という言葉が昔は珍しく、周囲の反対を押し切って出店したと聞き、すごいと思いました。自分の意見をしっかり持つことはとても大切なことが今回のリレー講座で学ぶことができました。
- ・大津屋に代々伝わってきた粘り強さがあるのかなと思います。

私もこれから粘り強くいろいろなことに挑戦してみたいです。

